



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔糖尿病代謝内分泌内科〕

指標名

糖尿病患者さんのQOL及び寿命の確保への取り組み

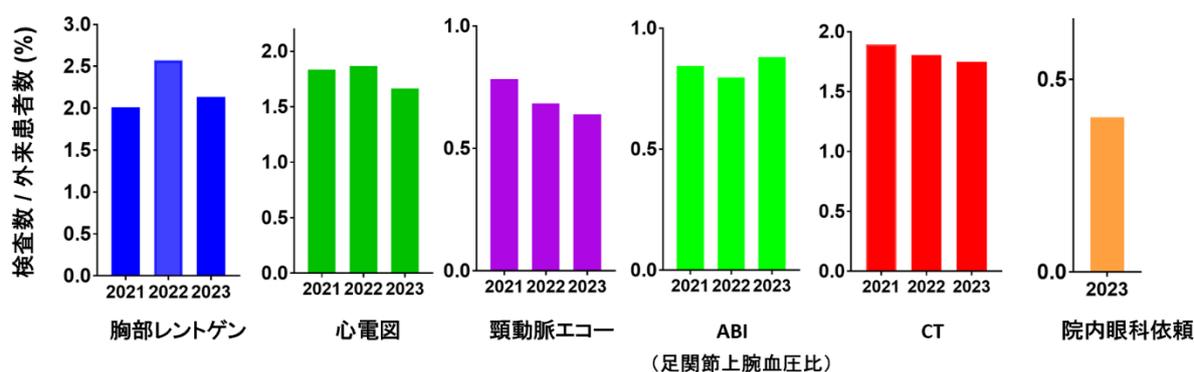
目標・ゴール

細小血管・大血管障害の評価及び高齢化などで増加する併存症(認知症や悪性腫瘍の有無)を評価し、早期に集学的治療を行う。また、悪性腫瘍の早期発見に努めるための検査を行い、医療の質の向上に繋げる。

目標・ゴール達成による効果

糖尿病による合併症の発症・進展を抑制し、健常者と変わらない人生を送れる可能性を高める。

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

□S :大幅に目標を上回った

□A⁺:目標を多少上回って達成

A :目標を達成

□B⁺:目標を少し下回った

□B :目標を下回った

□C :目標を大幅に下回った

□- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2023年度はABIの項目で検査率(検査数/外来患者数)は前年を上回った。CTは前年度とほぼ同程度であった。胸部レントゲン、心電図、頸動脈エコーは少し減少傾向であるが、全体的には目標を達成していると考えます。今年度は新たに糖尿病網膜症の精査率を追記した。引き続き、次年度以降も糖尿病による血管合併症や悪性腫瘍の早期発見に努め、健常な人と変わらない人生・寿命を確保する事を目標とする。

城南地区だけでなく、都内・他の地域からも幅広く患者さんが受診しやすいように、情報の提供と体制を医局運営ホームページ等でもアナウンスしていく。